

令和2年度決算に係る

定期監査資料  
決算審査

令和3年7月

商工労働部兼農林水産部  
市場開拓局  
食のみやこ推進課

## 目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指摘事項	1
	(2) 監査意見	1
	(3) 決算審査意見	1
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1
3	職員の定員、現員調べ	1
4	役付職員の調べ	1
5	主な事業に関する調べ	2
6	決算資料(総括表)	5
7	事業別実施状況調べ	6
8	予備費の充用調べ	8
9	繰越関係調べ	8
	(1) 継続費逋欠繰越調べ	8
	(2) 繰越明許費調べ	8
	(3) 事故繰越調べ	8
10	収入証紙取扱額調べ	8
11	現金の取扱状況	8
12	財産に関する調べ	9
	(1) 公有財産	9
	(2) 金券類の保有状況	9
	(3) 基金	9
	(4) 債権	9
13	財産の貸付及び使用許可調べ	9
	(1) 土地及び建物	9
	(2) 物品(1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの)	9
14	借受不動産明細調べ	9
15	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	9
	(1) 管理状況	9
	(2) 減免の考え方	9
	(3) 使用料の見直し	9
16	寄附物件の受納状況調べ	9
17	備品の処分状況調べ	9
18	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	9
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	
	(2) 物品の照合	
19	貸付金等状況調べ	9
	(1) 総括表	9
	(2) 償還状況	9
○	意見、要望等	10

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項 … 該当なし

(2) 監査意見

監査意見	処理状況
<p>■6次産業化支援取組事業の振り返りと今後の事業展開への活用について</p> <p>6次産業化支援の取組は、事業の開始から5年以上が経過し、成功事例や当初想定していた成果が得られていない事例も見られるようになっている。成功事例については、どのような点を克服し、またどのような強みを活かして成功に繋がったのか、一方、成果が得られていない事例については、その要因がどこにあったのか、これらの分析結果を蓄積し、最大限活用することが重要である。特に新たに取り組む事業者に対しては、これらの分析結果を活用し、PDCAサイクルを回しながら支援することが必要であると考え。</p> <p>については、事業者の計画達成に向け、分析結果を有効に活用し、PDCAサイクルを徹底した支援を行い、一つでも多くの事業者が成功事例となるよう取り組まれない。</p> <p>また、これらの分析結果は、これから6次産業化を検討する事業者にとっても有用であり、ひいては地域の振興にも繋がるものであることから、成功事例や課題等と併せ、地域への波及効果等、本事業の費用対効果を県民へ公表すべきである。については、公表により事業者に不利益が生じないよう配慮しつつ、関係者はもとより県民に対し、地域への波及効果等、本事業の費用対効果について明らかにされたい。</p>	<p>(1)事業実施要領で定めている実施状況報告書をPDCAサイクルを確認できる様式に変更し、結果を分析後、市町村、県関係課で共有し目標達成に向け、支援機関が連携・役割分担して支援を行っている。【措置済】</p> <p>(2)補助事業活用状況及び取組事例をとりネットで紹介するとともに、事例集を作成する。【対応中】(対応目途:R3年9月)</p>

(3) 決算審査意見 … 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況 … 該当なし

3 職員の定員、現員調べ

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
	3.4.1 現在	2.4.1 現在	3.4.1 現在	2.4.1 現在	3.4.1 現在	2.4.1 現在	3.4.1 現在	2.4.1 現在	
定 員	5	4	3	4			8	8	
現 員	( ) 5	( ) 4	( ) 3	( ) 4	( )	( )	( ) 8	( ) 8	
過不足(△)	0	0	0	0			0	0	
臨時職員	0	0	0	0			0	0	
会計年度 任用職員	1	1	0	0			1	1	一般事務1名

4 役付職員の調べ

(令和3年7月1日現在)

職 名	氏 名	在職期間		備 考
		年	月	
食のみやこ推進課長	山本 桂司	0	3	
参事(兼務)	渡邊 比呂志	1	2	(本務)販路拡大・輸出促進課
課長補佐	岸本 幸	0	3	
課長補佐	梅原 幸江	0	3	

5 主な事業に関する調べ

(単位:千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
食のみやこ鳥取県推進事業 (発見・体験「食のみやこ」推進事業)	13,055				13,055
将来ビジョン	(4) 農林水産物のブランド確立と多様な担い手が活躍				
令和新時代創生戦略	—				
政策項目	—				

概要

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

県民自らが「食のみやこ鳥取県」を実感・体験できる環境づくりを進め、鳥取の食の豊かさを積極的に県内外に発信する機運を高めるとともに、全国に向けて県産品のPRを行う。

(イ) 事業の実施状況

事業区分	事業主体	事業内容
食のみやこ鳥取県イメージ発信	県	・県産品を積極的にPR・販売する飲食店等を「食のみやこ鳥取県」推進サポーターとして登録した。(R1年度末登録件数:1,647 ⇒ R2年度末登録件数:1,715(県内1,319、県外362、海外34)) ・「食のみやこ鳥取県推進サポーター」のうち、特に活発な活動を行う方を「食のみやこ鳥取県推進三ツ星サポーター」として登録した。(R1年度末登録件数:85 ⇒ R2年度末登録件数:86)
		「食のみやこ鳥取県」マーク推奨事業:「食のみやこ鳥取県推進サポーター」の「食のみやこ鳥取県」ロゴマークの商品/パッケージ等への活用を支援した。(7事業者 補助金:346千円)
		「地元の逸品再発見事業」:県内生産者等の製造現場や商品のこだわり、食文化等をメディアで紹介した。(BSSラジオ:51回/年、日本海新聞:全5段カラー3回・記事体広告12回/年)(委託料6,572千円)
食のみやこ鳥取県づくり支援交付金	民間団体等	食のみやこ鳥取県のイメージアップや産品の特産化・ブランド化につながる民間等の取組を助成した。 (3団体/交付金:835,490円) (主な取組) ・ウェルカニ料理コンテスト(14店舗参加) ・高校生によるベニズワイガニを使ったカレーの商品開発(授業での実施) ・城下町三十二万石弁当(7店舗10種) 等
県産牛肉販売強化支援事業	鳥取県牛肉販売協議会	同協議会が行う県産牛肉の消費拡大に向けた取組(キャンペーンの実施等)を支援した。 (補助金 750千円)
県産魚ブランド発信事業	鳥取県産魚PR推進協議会	同協議会が行う県産魚(松葉がに、ハタハタ、岩ガキ、白イカ等)のブランド発信を支援した。 (補助金 1,402千円)

イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・食のみやこ鳥取県サポーター制度の普及に向け、登録事業者の掘り起こしやPR資材配布等を実施した。
- ・BSSラジオ及び日本海新聞では、県内の農水畜産物・ジビエ、加工品や郷土料理をPRする番組や連載枠を設けて継続的なPRを行っている。あわせて視聴者等からの感想を反映し、取り上げる対象や内容の魅力向上を図った。

ウ 成果及び効果

- ・食のみやこ推進サポーター登録数 1,715店舗(R2年度末)(前年度末比:101店舗(6%)増) ※1,114店舗(H26.3月末)
- ・BSSラジオ「食のみやこ鳥取 探検隊が行く」番組内にて、県内事業者による自社商品紹介等を実施し、毎回3名への視聴者プレゼントを実施。令和2年度では合計51回の放送があった中で約2,600件(1回平均約50件)のプレゼント応募があるなど、県内事業者の販売促進活動につながった。(放送1回あたりの応募件数前年度比:10件/回の増)
- ・全国和牛能力共進会での「肉質日本一」の評価を受け、県内外で「和牛王国とっとり」のPRを実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響で牛肉の販売が低迷したため、鳥取県牛肉販売協議会が行った県下全域での消費拡大キャンペーンを支援し、生産者支援、知名度の向上を図った。
- ・食による地域振興の取組を支援する交付金事業により、民間主体の活動の活性化を図った。  
[実施例]新型コロナウイルス感染症対策を踏まえたカニ料理コンテストの開催 等

エ 課題

- ・食に関する県内イベントが新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で延期・自粛となることを受け、食のみやこ鳥取県づくり支援交付金やロゴマーク、メディアの活用等により、今後も「食のみやこ鳥取県」の魅力を発信し、鳥取県の豊かな食文化を広く印象づける。
- ・「食のみやこ鳥取県推進サポーター」の登録件数は、R2年度末で1,715店舗(前年度比:101店舗増)、「三ツ星サポーター」については86店舗の登録であったが、今後も引き続きサポーターの登録を進め、「食のみやこ鳥取県」を推進していく。
- ・食のイベントや「食のみやこ鳥取県」を支えている飲食店等への「新たな生活様式」への対応を支援する必要がある。

(単位:千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
「星空舞」ブランド化推進事業	23,832	10,809			13,023
将来ビジョン	(4) 農林水産物のブランド確立と多様な担い手が活躍				
令和新時代創生戦略	—				
政策項目	Ⅱ しごと新時代 ⑦「星空舞」などブランド化推進と特A米・種子条例制定などでコメづくり支援				

## ア 目的及び事業の実施状況

## (ア) 目的

令和元年から本格販売が開始した本県オリジナル品種「星空舞」を、本県を代表する主食用品種として生産を推進し、県内外でのブランド確立を強力に図る。「星空舞ブランド化推進協議会」において高品質・良食味米生産に向けた取組を行うとともに、首都圏等での情報発信と関西圏を主たるターゲットとした販路開拓を実施する。

## (イ) 事業の実施状況

事業区分	事業主体	事業内容
星空舞ブランド化推進事業	JA全農とっとり	「星空舞」のブランド確立や販路開拓のための取組に要する経費に対し助成した。 (PR資材の作成・試食宣伝販売・販路開拓・学校給食への提供、専門誌への掲載等)
「星空舞」生産体制確立事業	鳥取県産米改良協会	「星空舞」の生産拡大、高品質・良食味米生産に向けた取組に要する経費に対し助成した。 (「星空舞」栽培コンテスト、作柄検討会等の開催、栽培展示ほの設置、品質分析等)
プレミアム米モデル実証事業	生産者、生産団体	米の小売り段階での優位性を獲得し、市場を確保するため、極良食味米の栽培技術確立のための取組を支援(良食味栽培技術の確立、品質分析)
全国的な情報発信	県	本格販売を開始する「星空舞」の全国的な認知度向上を目的とした情報発信を行った。 (雑誌、テレビ等のメディアPR:年間20回超) 【首都圏】 ・東京モノレール羽田空港駅での巨大看板掲出(10~11月)、全国こだわり新米フェア(静岡伊勢丹:10月)、テレビ・ラジオでの発信等 【関西圏】 ・新米PRイベント(JR大阪駅アトリウム広場:10月)、大阪通天閣への星空舞奉納とパックご飯配布PR(7月)、テレビ・ラジオでの発信等

## イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・新米の販売時期にあわせて、県内、関西等においてPRイベントを実施したほか、メディア・広告媒体を使用したPRや関西販売店での試食宣伝販売などを実施した。
- ・七夕に合わせた販促キャンペーン、星空舞が食べられるお店制度の創設や、「星空舞週間」として県内学校給食での星空舞提供(7月と1月の2回)及び食育事業などを新たに実施した。

## ウ 成果及び効果

- ・関係機関と連携したメディア・イベントによるPR効果により、令和2年産星空舞の販売実績(6月)は1,744.59トン(R1販売数量対比:314.2%)となり、令和元年同時期を上回る販売進捗が得られた。
- ・意欲的な県内企業による星空舞を使用した加工品開発も進んでおり、これらの加工品のメディア露出とともに特産品としての存在感や認知度が向上している。  
(事例:R2食のみやこ鳥取県特産品コンクール総合優勝「星空舞糍甘酒」(千代むすび酒造(株))ほか)

## エ 課題

- ・作付面積は順調に拡大(R2年約1,000ha)しており、県外への販売先も徐々に増えつつあるが、各産地の新品種も市場投入されているため、全農とっとりや関係団体等と連携しながら全国的な知名度獲得に向けて、独自色を打ち出し、かつターゲットを絞ったPRや販売戦略を展開していく。

(単位:千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
「食のみやこ鳥取県」ふるさと産品巣ごもり 応援事業	27,651	23,000			4,651
将来ビジョン			—		
令和新時代創生戦略			—		
政策項目			—		
ア 目的及び事業の実施状況					
(ア) 目的					
<p>新型コロナウイルス感染症の拡大により、県境をまたいだ移動の自粛が求められる中、都市部等で巣ごもりをせざるを得ない本県出身者がいる中で、鳥取県産の農林水産物の宅配による「ふるさと便」の需要が高まっている。このため、県民が県内直売所から県外の親族や友人等に県内の農林水産物等の産品(ふるさと産品)を配送することを応援するとともに、「食のみやこ鳥取県」の魅力発信を図る。</p>					
(イ) 事業の実施状況					
<p>○概要:外出自粛による巣ごもり需要に対応するため、県民による県外の親族や友人等への県産農林水産物等配送費等を支援した。 (直売所等でのふるさと産品購入・配送費用、ふるさと産品に係るPR資材作成費など) (補助率)1/2、(補助上限額)1,000千円</p>					
<p>○実績:交付実績件数:65件 延べ利用者数37,337人(補助額:21,992千円) (支援対象)県内JA、協同組合等、直売所、食品加工事業者、菓子製造・酒造販売事業者等 (支援事例)</p>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・二十世紀製の送料半額キャンペーンを実施し、前年より売上が伸びた。(直売所)</li> <li>・酒造販売業者:送料無料キャンペーンを実施し、顧客にダイレクトメール等で情報発信したところ、前年と比べ県内から県外への発送が増加し、売上が伸びた。(酒造販売事業者)</li> <li>・水産物の送料半額キャンペーンを実施し、売上が伸びた。(海産物販売業者)</li> <li>・県外の親戚に特産品を送る際、いつも送料が気になるので支援していただいととても助かった。(利用者の声)</li> </ul>					
イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度4月補正予算でモデル的に5事業者を想定して予算化したが、県内の多くの事業者からの本事業活用の要望を受けて6月補正予算で速やかに予算を拡充した。あわせて、事業実施においては、事業者にふるさと産品配送に合わせ食のみやこ鳥取県のパンフレット等の同封を義務付け、幅広い魅力発信に取り組んだ。</li> </ul>					
ウ 成果及び効果					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「食のみやこ鳥取県」の魅力を県内外に発信したほか、新型コロナウイルス感染症の拡大により経営的に苦境にある生産者等を支援し、経営維持に貢献することができた。</li> </ul>					
エ 課題					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の拡大により需要が落ち込んだ県産品に対する継続的な消費回復・需要喚起策や、新たな生活様式に対応する販売手法導入への支援が必要である。</li> </ul>					

## 6 決算資料

一般会計（歳入）

（単位：円）

区分	科目	予 算 現 額				調 定 額 A	収入済額 B	不納欠損額 C	収入未済額 A-B-C	備 考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越財源充当額	計					
歳	農林水産業費国 庫補助金	56,479,000	545,154,000	0	601,633,000	421,705,556	421,705,556	0	0	
入	合 計	56,479,000	545,154,000	0	601,633,000	421,705,556	421,705,556	0	0	

一般会計（歳出）

（単位：円）

区分	科目	予 算 現 額					支出済額 （決算額） B	支出済額の内訳		翌年度 繰越額 C	差引残額 （不用額） A-B-C	備 考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A		本 庁	出納機関			
歳	農業総務費	139,189,000	538,000,000	0	0	677,189,000	514,597,653	486,481,971	28,115,682	0	162,591,347	
	中小企業振興 費	4,724,000	0	0	0	4,724,000	2,009,067	1,958,954	50,113	0	2,714,933	
出	合 計	143,913,000	538,000,000	0	0	681,913,000	516,606,720	488,440,925	28,165,795	0	165,306,280	

## 7 事業別実施状況調べ

(単位:円)

事業名	予 算		現 額			支出済額 (決算額) B	翌年度繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業計画と実績・成果、 不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費 及び繰 越事業 費繰 越額	予 備 費 支 出 及 び 流 用 増 減	計 A					
(農業総務費) (主)食のみやこ鳥取県推進事業 (発見・体験「食のみやこ」推進事業)	22,358,000	0	0	△1,039,458	21,318,542	13,054,798	0	8,263,744	61.2%	主な事業に関する調べのとおり「星空舞」ブランド化推進事業へ流用 【不用となった理由】 県内でのイベント開催などがコロナの影響により実施できなかったため。
食のみやこ鳥取県推進事業(魅力ある食づくり事業)	4,275,000	0	0	0	4,275,000	2,159,857	0	2,115,143	50.5%	・県産食材を用いた名物料理の開発・PR支援や料理教室等により、旬の県産食材を使った料理や地元につながる郷土料理の普及を図った。 ・高等学校で県産食材を使った料理講習会の開催や地域での郷土料理講習会により、県産食材等の良さや調理方法を広めることができた。(オリジナルメニューづくり:活用件数1件/オリジナル加工品づくり:活用件数6件) 【不用となった理由】 コロナの影響により予定していた新商品開発や講習会等が実施できなくなったため。
食のみやこ鳥取県消費拡大事業	1,635,000	0	0	0	1,635,000	1,400,058	0	234,942	85.6%	・県産米と県産米粉の消費拡大を図る取組を進めた。 ・小学5、6年生を対象に、県産米等を使用した朝ごはんづくりチャレンジイベントを実施した。(応募総数:338件) ・県産米粉食品普及推進協議会への支援 ・公用車用星空舞マグネットシートの作成や日本海新聞系列各紙への広告掲載を通し、県産米の情報発信を行った。
とっとりジビエ 全県普及推進事業	20,286,000	0	0	0	20,286,000	19,182,605	0	1,103,395	94.6%	・「いなばのジビエ推進協議会」及び「ほうきのジビエ推進協議会」の活動を支援し、全県的なジビエの普及を推進した。 ・首都圏でのジビエフェア開催や、ジビエが食べられるお店のガイドブック制作により、とっとりジビエの発信に努めた。 ジビエフェア参加店舗:15店舗
「空の駅」× 「食のみやこ鳥取県」ツイン ポート化推進事業	1,000,000	0	0	0	1,000,000	396,000	0	604,000	39.6%	「食のみやこ鳥取県」をPRするため、デジタルサイネージ用動画の作成を行った。 【不用となった理由】 見積合わせにより経費を削減できたため。
6次化・農商工 連携支援事業	58,293,000	△18,500,000	0	0	39,793,000	34,196,364	0	5,596,636	85.9%	・9件の機械・施設整備等を支援し、6次産業化に取り組む農林漁業者の経営改善に繋がった。 ・県外で行われていた加工品製造が県内に移転した。 ・6次産業事業者の個別課題解決のためのプランナー派遣により、ネットショップ開設による売上増加、HACCPの考え方を取り入れた加工施設衛生管理の徹底等に繋がった。
食のみやこ推進 課管理運営費	6,698,000	0	0	0	6,698,000	4,500,172	0	2,197,828	67.2%	【不用となった理由】 公金振替等事務費の自然執行残
(主)「星空舞」 ブランド化推進事業	24,644,000	0	0	1,039,458	25,683,458	23,832,048	0	1,851,410	92.8%	主な事業に関する調べのとおり 食のみやこ鳥取県推進事業(発見・体験「食のみやこ」推進事業)から流用



事業名	予 算 現 額				計 A	支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業計画と実績・成果、 不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費 及び繰 越事業 費繰 越額	予備費支出 及び流用 増減						
頑張ろう「食のみやこ鳥取県」緊急支援事業	0	300,000,000	0	0	300,000,000	262,797,290	0	37,202,710	87.6%	コロナ禍にある飲食店等のコロナ対策等を支援した。(実績: 2,387件)
県産牛肉学校給食提供事業	0	160,000,000	0	0	160,000,000	85,676,181	0	74,323,819	53.5%	国事業を活用して鳥取和牛を学校給食に無償提供し、子どもたちの食育及びコロナ禍にある生産者支援につなげた。(鳥取和牛・ホルスタイン込みで延べ201,186人分、9,179kgを提供) 【不用となった理由】 和牛肉の提供希望量が想定より少なかったため。
県産農林水産物需要拡大・加工事業者経営回復対策事業	0	23,000,000	0	0	23,000,000	21,215,221	0	1,784,779	92.2%	コロナ禍で苦境にある県産農林水産物を使用した加工事業者向けの相談窓口を設けたほか、事業者のネット販売等非対面販売手法等の導入を支援した。(支援実績46件)
(主)「食のみやこ鳥取県」ふるさと産品巣ごもり応援事業	0	35,000,000	0	0	35,000,000	27,651,695	0	7,348,305	79.0%	主な事業に関する調べのとおり
鳥取地どりピヨ学校給食提供事業	0	33,000,000	0	0	33,000,000	13,169,380	0	19,830,620	39.9%	国事業を活用して鳥取地どりピヨを学校給食に無償提供し、子どもたちの食育及びコロナ禍にある生産者支援につなげた。(延べ140,129人分、4,362kgを提供) 【不用となった理由】 鳥取地どりピヨの食材提供希望量が想定より少なかったため。
「食のみやこ鳥取県」推進サポーター等情報発信強化事業	0	3,000,000	0	0	3,000,000	2,865,984	0	134,016	95.5%	食のみやこHPを改修し、メニュー等の情報のほか、新型コロナウイルス感染防止対策情報などを加え、コロナ禍の中でも利用者が安心して来店できる環境を整えた。このHPを契機に新規取引につながった事例も生まれた。
「とっとりジビエ」魅力発信によるブランド力強化事業	0	2,500,000	0	0	2,500,000	2,500,000	0	0	100.0%	・とっとりジビエ座談会@online、専門誌等掲載など、とっとりジビエを全国に発信した。 ・とっとりジビエ座談会@onlineに参画いただいたシェフ考案のメニューを県HPに掲載した。
目 計	139,189,000	538,000,000	0	0	677,189,000	514,597,653	0	162,591,347	75.9%	
(中小企業振興費)										
地域資源活用・農商工連携促進事業	4,724,000	0	0	0	4,724,000	2,009,067	0	2,714,933	42.5%	・地域資源活用・農商工連携促進事業: 3つの商工団体等が加工事業者等に専門家を派遣して行う商品ブラッシュアップやネット販売等の販路開拓を支援した。 ・農商工コラボネット: 東中西にプラットフォームを設け、商工団体と連携し情報提供や支援策の検討、マッチング等に取り組んだ。 【不用となった理由】 コロナの蔓延により研修会・商談会の開催が見送られたため。
目 計	4,724,000	0	0	0	4,724,000	2,009,067	0	2,714,933	42.5%	
合 計	143,913,000	538,000,000	0	0	681,913,000	516,606,720	0	165,306,280	75.7%	

8 予備費の充用調べ …該当なし

9 繰越関係調べ

(1) 継続費通次繰越調べ …該当なし

(2) 繰越明許費調べ …該当なし

(3) 事故繰越調べ …該当なし

10 収入証紙取扱い調べ

有  無

11 現金の取扱状況

(1) 現金取扱状況…該当なし

(2) つり銭の状況…該当なし

12 財産に関する調べ

(1)公有財産 …該当なし

(2)金券類の保有状況

ア 金券の保有状況

有 ・ 無

イ タクシーチケットの受払状況

(令和3年3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本年度中		本年度末	備考
	購入枚数	使用枚数及び金額		
枚 26	枚 0	枚 0	枚 26	

(3)基金 …該当なし

(4)債権 …該当なし

13 財産の貸付け及び使用許可調べ …該当なし

14 借受不動産明細調べ …該当なし

15 職員駐車場の管理状況調べ …該当なし

16 寄附物件の受納状況調べ …該当なし

17 備品の処分状況調べ …該当なし

18 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 物品の亡失、損傷の報告状況 …該当なし

(2) 物品確認の実施状況

有 ・ 無

19 貸付金等状況調べ…該当なし

○ 意見、要望等

(1)業務に関する要望等 なし

(2)監査委員事務局に対する意見・要望等 なし

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する要望等

特になし

(2) 監査委員事務局に対する意見・要望等

特になし